



YMI World

強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う

YMIワールド



愛するYMIファミリーの皆さん、

YMIワールドからご挨拶申し上げます！「才能発掘」作文コンテストの結果を発表できることを誇りに思います。この取り組みに対する反響は素晴らしく、多くの作品が寄せられ、国際的な指導者たちによって審査されました。

私たちの若者は、非常に大きな可能性を持っており、それは、内容の質の高さと表現された革新的な考えによって示されました。参加されたすべての方々に心からお礼を申し上げますとともに、受賞者の方々には心からお祝いを申し上げます。参加者全員に表彰状が授与されます。

受賞作は13ページでご覧いただけます。このほかにも活発なコンテストが開催される予定です。ご期待ください！

ジョージ・M・アンバット
YMIワールド編集長



ミミ・メリン・ジョン
バザリータウン・ワイズメンズクラブ
西インド区 第3部



デビカ・ラクシュミ
トリプニスラメトロ・ワイズメンズクラブ
中央西インド区 第9部



ミカイル・カルプピニン
スメナ・ワイズメンズクラブ
ロシア区 サンクトペテルブルク部

おめでとうございます

編集長から



ジョージ・アンバット
YMIワールド編集長

人間性とは、社会における礼儀正しい関係を維持することだけではなく、持続可能な価値観を通じて地域社会における強い絆を育むことでも有ります。同様に、人間性とは、困った時に思いやりと共感を示すことだけではなく、生活のあらゆる面で愛と優しさを守ることです。真の人間性とは、あらゆる努力において、心と精神の両方を使うことです。

多くの場合、人間性は、慈善行為として認識され、それは、古いことわざにありますように、家庭から始まります。世界は、前世紀よりも冷え切っており、滅私よりも個人的な利益が優先されているというのが一般的な見方ですが、私は、そうではないと主張致します。あなたがそれを探せば、世界には多くの善があります。扇動的な新しい話や不平不満や終末予言を喜ぶ懐疑主義者や皮肉屋に過度に落胆させられてはなりません。

マハトマ・ガンジーは、彼がなにより大切にしていたインドとその国民に奉仕することにその生涯を捧げました。彼の大衆との深い結びつきは、イエス・キリストが示した愛と思いやりを、世界が彼の中に見るほどでした。彼の無私の奉仕は、地域社会、国家、民族の架け橋となり、今も指針となっています。

究極的には、人類への奉仕は団結を育みます。それは虐げられた人々に希望をもたらし、意気消沈した人々に力を与えます。平和と調和が私たちの奉仕の原動力となる時、それは神への奉仕となります。孤児に差し伸べられる慰めの手は、神聖な行為となります。恵まれない人々が以前は得られなかった機会を手に入れ、喜びを見出すとき、公正で思いやりのある世界の本質が反映されます。

歴史を通じて、人類は、世界を愛と調和で満たそうと努力する文明を創造する事で進化してきました。一人ひとりが、この崇高な使命を受け継ぐ役割を担っています。私たちは、この遺産に誇りを持ち、私たちの運動を通じてこの遺産を受け継ぎ、私たちのモットーである「強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う」を果たすべきです。

奉仕は、富からではなく、自らのビジョンと与える意欲から生まれるという考え方を受け入れましょう。情熱と目的を持って行動しましょう。本号では、YMIの様々な人道的側面を紹介しましたが、次号以降の出版物でも、YMIの良い行いに関する更なるストーリーを紹介できることを楽しみにしています。



ワイズメンズクラブ国際協会
スイス、ジュネーブ、ローザンヌ通り121番地
電話 +41 22 809 1530 : www.ysmenorg

日本語版制作
東西日本区合同翻訳・通訳グループ



国際会長は語る

A・シャナヴァスカーン
2024/25 国際会長

親愛なる世界中のワイズメン、ワイズウィメンの皆さま、

皆さまに温かいご挨拶を申し上げます。1月下旬、アジア太平洋地域の多くのクラブ会員が旧正月を祝い、喜びと楽観的な気持ちで巳年を迎えました。本年がすべての人々にとって繁栄と祝福、そして豊かな機会をもたらす年でありますように。

また、1月には、ジョース国際書記長とともに、チェンナイYMCAで開催されたインド地域の次期理事／部長オリエンテーション・ミーティングに出席する機会に恵まれました。プログラムをホストしてくれたマドラスYMCAの圧倒的なサポートとホスピタリティを目の当たりにし、本当に勇気づけられました。

さらに、中央トラバンコールと南西区で行われた様々なクラブや区のレベルのイベントに参加する機会がありました。私たちの運動の献身と活力を反映した、会員の間で新たなエネルギーと熱意を感じることができました。これらの交流は、ワイズメンズクラブ国際協会(YMI)がより強く、より影響力を増し、その使命においてますます団結しているという私の信念を再確認させました。

ノルウェー出身のヨハン・ウィルヘルム・エルトヴィクが、2025/2026年度の次期国際会長に選出されました。私たちは、彼をYMIの指導者チームに温かく迎え入れ、また、今後の彼の貴重な貢献に期待しています。

加えて、さまざまな地域から選出されたすべての立法議会議員にお祝いを申し上げます。彼ら/彼女らの運動への献身と奉仕は、私たちの使命を強化し、世界的な影響力を拡大するのに役立つことでしょう。

2月は、私の故郷コヴァラムで開催された国際次期理事サミットと、オンライン上で開催された実り多い年央会議に象徴されるように、ダイナミックな月でした。サミットは大成功を収め、50人以上の参加者が一堂に会し、洞察に満ちたディスカッションと貴重な交流を行いました。サミット前後の旅は、クラブ活動の見学やいくつかの新クラブのチャーターなど、訪問団とホスト区双方にとって充実した経験となりました。

このサミットは、戦略的な議論、協力、そして組織を前進させるためのアイデアを共有するための重要なプラットフォームを提供しました。

2月、私たちは「断食の時」(TOF)月間を迎えました。TOFの取り組みは、まさにワイズメンの精神を体現するものです。

各クラブメンバーは、食事を2、3食抜き、その分をTOFプロジェクトに寄付することを検討するよう奨励されました。この企画は、特に国連の「持続可能な開発目標」に沿った分野で、世界中の地域社会に著しい影響を与えています。皆さんの小さな犠牲が、恵まれない人々を向上させ、地域社会に力を与え、より良い未来のための資源を提供する、人生を変えるプログラムに変わるのです。

カリフォルニア州で発生した山火事による壊滅的な被害を深く悲しんでいます。多くのクラブ会員がこの災害により深刻な影響を受けています。悲劇的に実家を失ったヘンリー・ワルサー戦略2032チーム委員長をはじめ、被害に遭われたすべての方々に心よりお見舞い申し上げます。

これを受けて、米国地域は、被災者を支援するために資源を動員し、資金を調達しています。国際的な運動として、私たちは、同胞であるワイズメンやワイズウィメンたちと連帯し、自然災害で被災した人々を支援するため、可能な限りの援助を提供します。

私たちは、支援を必要としている人々にタイムリーで実質的な支援を提供できるよう、私たちの救援活動に惜しみなく貢献するよう会員に呼びかけます。

私たちは、2025年を通して旅を続けますが、私たちの使命である奉仕、リーダーシップ、地域社会のエンパワメントに引き続き全力を尽くしましょう。力を合わせれば、私たちは、意義ある変化を生み出し、より思いやりのある強靱な世界を築くことができるのです。

ワイズメンズクラブ国際協会への献身と奉仕に感謝します。

私たちは、団結、力強さ、そして目的を持って、立ち上がり、輝き続けましょう。

奉仕の心で、

A・シャナヴァスカーン

国際会長

国際会長 インド地域ユースキャンプ2024-25を訪問





エドワード・オン

2025/2026 国際会長 ワイズメンズクラブ国際協会

2025/2026 国際会長: 主題、スローガン、ビジョン

主題 信念、愛、行動

信念 ワイズメン運動を推進する核となる信念と基盤となる価値観を強化します。信頼に基づくこと、より高い目標や神の導きを大切にすることを強調します。

愛 思いやりと共感、人々がより前向きで、お互いに敬意を払い、開かれた心を持つための大切な美德であり、これらは全て、より強く、より支え合うコミュニティーを築くためのYMIの核となる価値観です。

行動 行動と率先を通して信念と愛を実行することの重要性を確立し、地域社会や世界に対して目に見える効果的な貢献を行います。

スローガン 共に、より強く

このスローガンは、連帯と協力の強さを強調しています。いかに協力が個人やコミュニティーを豊かにし、障害を克服し、共通の目標を達成する手助けとなることを示しています。

また、共通する目標を追い求める全ての人々の協力を促す包摂性や集団としての進歩の原則に調和しています。

ビジョン 志を持ち、鼓舞し、変革する運動

志 個人やコミュニティーが、より高い目標を持ち、より大きな夢を描き、卓越したものを求めることを奨励します。

鼓舞 行動、模範、共通の価値観を通じて他者を動機づけ、ポジティブな影響の波及効果を生み出します。

変化 個人の内面と社会の両面において、意味ある変化をもたらす、最終目標を表しています。

主題、スローガン、ビジョンは、YMIが次のことに根ざした運動であることを反映しています。

- 強い価値観
- 目的に向かったの団結
- 違いを生み出すことに全力を尽くす
- 信念、愛、意義ある行動を通じて



サンドラ・ハミルトン

カナダ/カリブ海諸国地域会長

かつてマーカスという強力な経営者がいました。彼は、リーダーシップとは塔の頂上に立ち、下の者に命令を下すことだと信じていました。彼の声は、会議室に響きわたり、その存在感は、部下を震え上がらせ、冷酷なまでに効率的という評判は、どこに行っても先行していました。彼は、自分の価値を、部下たちの数と街を見下ろすオフィスの広さで測っていたのです。

ある日、世界的なリーダーシップ会議に出席していたマーカスは、レセプションホールの隅で静かに座っている老人に出会いました。他の人たちが名刺交換や取引に夢中になっている中、老人は、穏やかな眼差しと、微かな微笑みでその様子を見守っていました。興味をそそられたマルカスは、彼に声をかけました。

「なぜ一人でここに座っているのですか？」とマーカスは、尋ねました。「貴重なネットワーク作りの時間を無駄にしませんか？」

老人は、彼を見上げ、こう答えました。「私は、一人ではありません。私は、ここに一人ひとりがそれぞれの夢と恐れを抱いていることを観察しています。ある者は、家族への希望を、またある者は、チームの生活の重荷を背負っています。君は、何を背負っているのですか、マーカス？」

その質問の洞察力に驚いたマーカスは、気がつくやうに座っていました。「私は成功を背負っています。」と得意げに答えました。「私は権威を背負っているのです。」

「そう」老人は、うなずきました。「でも、責任を背負ったことは、ありますか？」

この単純な疑問が、その後何日もマーカスを悩ませました。皆が帰宅した後、遅くまで掃除する管理人、同僚が締め切りを守るのを手伝うために、昼食を抜く若手アナリスト、皆のコーヒーの好みや家族の名前を覚えている受付係、など、これまで見過ごしていたことに気づき始めました。

奉仕することを学んだ リーダー

このような観察に悩まされたマーカスは、再び老人を探しました。彼は、老人が地元の起業支援所で、苦勞している起業家を指導するボランティアを行っているのを見つけました。

「私には、理解できません」とマーカスは認めました。「あなたは、明らかに分かち合うべき知恵を持っているのに、自分のキャリアを前進させることができないう初心者と時間を費やしています。」

老人は、微笑みました。「真のリーダーシップとは、上へ上へと進むことではなく、他者を引き上げることです。あなたが引き上げる手助けをする一人ひとりが、コミュニティー全体を強くするのです。」

マーカスは、この理論を試してみることにしました。指示するためではなく、彼らの課題を理解するために、チームと共に時を過ごし始めました。ミーティングの準備のために早く出勤し、指導を求める人のために遅くまで残るようになりました。最初は、自分の立場が低く感じられましたが、次第に何かが変わっていくのに気づきました。

彼のチームは、失敗を恐れて麻痺することなく、より自由に革新し始めました。彼らは、問題が彼のデスクに届く前に解決するようになりました。何よりも驚いたことは、彼が彼らを気遣うようになったのと同じように、彼らは互いを気遣うようになったことでした。

ある晩、マーカスが複雑なプロジェクトについて後輩社員の理解を助けっていると、老人が再び現れました。

「理解したようですね。」老人は言いました。「真のリーダーシップとは、自分の塔の高さではなく、他者に築く土台の強さなのです。最も偉大なリーダーとは、奉仕する者です。」

「でも、私は、もはや強力な存在とは見なされていません。」とマーカスは、答えました。

「周りを見てごらんさい」老人は、オフィス内を身振りです示しました。そこではチームが自由に協力し合い、インベーションが自然に生まれ、人々は、義務感からではなく、純粹に微笑んでいました。「これは、恐怖よりも強力なものではありませんか？」

マーカスの組織は、その冷酷な効率性ではなく、革新性、忠誠心、強力な企業文化で知られるようになりました。他の経営者たちは、何か画期的な経営手法があるのではないかと期待して、彼の手法を研究しにきました。代わりに彼らが見つけたのは、週に一度、チームに朝食を振る舞い、従業員の子供の名前を知っていて、自分の成功よりも他人の成功を声高に祝うリーダーでした。

後年、成功の秘訣を尋ねられると、マーカスは、微笑みながらこう答えていました。「リーダーとは、塔のてっぺんにいることではなく、そこから降りてこられるだけの強さを持つことなんです。」

サーバントリーダーシップについての個人的な一言

だからこそ、ワイズメンズクラブ国際協会の一員であることを誇りに思います。私たちは、伝統的なリーダーシップからサーバントリーダーシップ(奉仕型リーダーシップ)への変革を日々体現しています。私たちのモットーである「強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う」は、紙の上の言葉だけではありません。それは私たちが地域社会で実践している生き方そのものです。物語に登場するマーカスのように、真のリーダーシップとは、自分の手を汚し、他の人々とともに働き、謙虚さと目的を持って奉仕することだと私たちは、理解しています。

ワイズメンズクラブ国際協会には、次のようなリーダーがいます。

- 評価を求めることなく、地域社会に貢献する。
- 奉仕活動を通じて青少年の育成とリーダーシップを支援する。
- 奉仕する人々の上に立つのではなく、彼らのそばで働く。
- 文化や地域社会の架け橋となる。
- 行動を通じて権利を責任に変える。

この物語は、あなたの心に響きますか？奉仕を通じてリーダーシップを発揮することを信じますか？私たちは、ともに、より強い地域社会を築き、世界が切実に必要としているリーダーシップを育成することができるのです。

世界と繋がって



1922年にワイズメンズクラブ国際協会 (YMI)が設立されて以来、常にそれぞれのクラブが属する地域社会や国を越えて活動することに関心が寄せられてきました。その理由は、「奉仕を通じて人格形成をする」と謳い、「優れたクラブ」として認められるためにクラブが実践すべき8つの特質を挙げているYMIの最初の国際憲法があるからなのでしょう。そのリストの最後に挙げられていた特質が「すべてのキリスト教青年会 (YMCA)に対する市民の善意を育み、そのために機会があればどのような職務であれ熱心に奉仕すること」でした。事実、オリジナルの長文版の入会式式文には、「ワイズマンになることは、世界的な視野を持つこと」と記されています。

私たちの世界的な活動が始まったのは、1923年にロシアに衣類を送るために協力したオハイオ州、ニュージャージー州、ノヴァスコシア州のクラブによる共同事業や、カナダのクラブ会員であるバイロン・スウェーズを1925年にアメリカで開催された国際大会に招聘するための共同募金活動を見れば一目瞭然です。1927年までに「世界展望」委員会が設立され、ポール・ウィリアム・アレキサンダー元国際会長がその委員長に就任しました。1931年には、国際大会がオハイオ州クリーブランドで開催されたYMCA世界同盟大会と同時開催されました。1935年までにYMIは、世界中のYMCAのキャンプや活動を支援するためにファンドを提供し始めました。アイオワ州ワシントンンの若い男性のルイス・ウォーレンがチェコスロヴァキアで催されたキャンプに派遣されました(ルイスは、後に第11代国際会長に就任することになります。)。1941年までに世界YMCA同盟の戦争捕虜支援プログラムのために財政支援が可能となりました。

デビー・レッドモンド 国際ヒストリアン

1958年大阪YMCA(日本)とその新しいユースセンタービルを紹介する小さな記事が掲載されました。この建物は、「建物BFファンド」からの支援金で建てられたものです。追加支援金が、2つの兄弟クラブであるカルフォルニア州パサデナクラブ、ミネソタ州ミネアポリス市、ノースサイドクラブから提供されました。総建設費は、16万5,000米ドルでした。

「世界展望」計画の一環として、クラブは、米国YMCA同盟を通じて世界奉仕事業のために献金するよう奨励されました。もう一つの事業として、建物BFファンドは、戦時中に被害を受けたYMCAの施設を改修したり再建したりするための基金を集めることに重点を置きました。個々のクラブからの寄付金の申し出額は、100～1万米ドルまで様々でした。建物BFファンドは、韓国、日本、インド、オーストリア、フランス、インドネシア、タイ、トルコ、イスラエル、エジプト、リベリア、イタリア、ドイツ、香港、ベルギー、台湾、セイロン(スリランカ)、ギリシャ、フィリピンといくつかのラテンアメリカ諸国のYMCAが受け取りました。このキャンペーンの結果、32か国の、被害を被ったり破壊されたりした建物の代わりに98棟の新しいYMCAの建物が建設されました。YMIは、総計で世界奉仕事業におよそ15万米ドル、建物BFファンド事業に10万2,000米ドルを寄付しました。

結論として世界中のワイズメンズクラブは、地元の地域社会のみならず、世界の友人たちを支援しているのです。



大阪YMCAの新ユースセンタービル

共に前進 YMIにとって節目の年



2024/25年度の下半期に足を踏み入れた今は、私たちの組織を特徴づけてきた進歩、回復力、献身という目覚ましい旅路を振り返る絶好の機会です。チャーミング・シェン国際会長の病気など不測の事態にもかかわらず、私たちのリーダーシップは揺るぎませんでした。2024年7月4日、次期国際会長 A・シャナヴァスカーンが、「より良い世界のために、共に」という感動的な主題と、「立ち上がろう、そして輝こう」という力強いスローガンを掲げて、リーダーに就任しました。

功績の遺産

この6ヶ月間、YMIは、変化をもたらすという私たちの集団的なコミットメントを強調する数々のマイルストーンを祝ってきました。最も重要なイベントのひとつは、チェンマイで開催された第74回国際大会で、YMIフェスティバルのテーマのもと、8つのエリアと40の区から500名の参加者が集まり、団結と協力を育みました。同様に、ドバイで開催された第19回国際ユースコンボケーションは、若いリーダーたちが参加し、有意義な貢献をするためのダイナミックなプラットフォームを提供しました。

ジュネーブでYMIが非営利団体として法定登録されたことは、YMIの法的・運営的枠組みを強化する上で極めて重要な一歩となりました。さらに、世界的な危機に迅速に対応する能力は、インドに緊急救援基金を提供した際にも発揮され、奉仕と人道支援への揺るぎないコミットメントを示しました。

グローバル・プレゼンスの強化

私たちの拡大努力は、YMIの活動範囲と影響力をさらに拡大する上で大きな役割を果たしました。57の新クラブが加盟し、934人の新会員を迎え、80カ国に事業を拡大することで、ミッション100の目標に向けて着実に前進しています。シームレスなリーダーシップの移行を確実にするため、IPE2024/25の臨時選挙も実施し、安定とガバナンスへの献身を強化しました。

重要なハイライトは、第1回CPE研修所コンクラーベ(ワークショップ)で、各地での革新的なトレーニング法を紹介したこと。さらに、定款付則、行動規範、理事/次期理事、部長/次期部長マニュアルの改定など、主要な組織文書が承認されたことで、私たちの将来に向けた強固な基盤が築かれました。

新しい会員管理システムの導入

YMIは、iMISテクノロジーを導入し、デジタル時代を迎えようとしています。これは、組織全体の効率と会員とのつながりを強化することを目的とした変革的な取り組みです。この転換により、業務の合理化、コミュニケーションの改善、そして世界中のYMI会員間の協力関係の促進が期待されます。

国際的なフォーラムへの積極的な参加も、YMIのグローバルな存在感を高めています。アフリカで開催された「世界YMCAアクセラレーターサミット」執行委員会への参加や、アメリカのYMCAリーダーとの話し合いは、有意義なパートナーシップの構築と進歩の共有に対する私たちのコミットメントをより強固なものにしました。

今後の展望: 課題と機会

私たちは、成果を祝う一方で、前途は、課題と機会の両方で満たされていると認識しています。これからの半年間、私たちは次のことに重点を置きます:

- 若者の参加を促進し、アジェンダ25を前進させるためのヤングンバー・クラブの推進
- 国際的なプロジェクトや基金に対する認識と参加の拡大
- 目標に絞ったリバイバルキャンペーンを通じて、苦境にあるクラブを活性化し、投票権を回復して影響力のある活動を継続できるようにする。

ともに課題を克服する

私たちの成功にもかかわらず、いくつかの重要な分野では早急な対応が求められています。国際プログラムへの献金の減少に対処し、会員増強を強化することは、依然として最優先課題です。これらの課題は、私たちの運動を維持・拡大するための革新、協力、戦略的行動の好機です。

私たちが前進するとき、その使命に対する私たちの強いコミットメントは変わりません。私たちは、共に、世界中の地域社会に前向きな変化をもたらす、強力で影響力のある組織を築き続けていきます。私たちの情熱と忍耐力を結集すれば、YMIにとって最高の未来が待っています。

国際書記長 ジョース・ヴァルギース

エンダウメントファンド

S・チャンドラモハン EF国際事業主任



エンダウメントファンド(EF)国際事業主任のインド地域・西インド区のS.チャンドラモハンです。

クラブメンバーとして、私たちは、ワイズメンズクラブ 国際協会(YMI)の資産であるエンダウメントファンドに献金を行うことにより、YMIの強さと安定性を守ることを決意しています。YMIのゴールデンブックに掲載されるよう、EFへの献金をお願いいたします。

国際会長A・シャナヴァスカーンとジョース・ヴァルギース国際書記長は、100カ国にYMIを拡げること積極的に関与し、努力を行っています。上半期には、レソトにクラブを設立し、スイスとニュージーランドでの活動を復活させ、新たに3カ国を加えました。国際会長のホーム区(南西インド区)からのEFへの献金は、シヤジ・M・マシューの献身的な努力の賜物です。

目的

EFの目的は、YMIの現在および将来の目的、目標、プログラム、拡大のために財政的支援と安定を提供することです。

私たちの運動の将来を、いつでも考えましょう。EFの目的は、特別事業、拡大事業、運営補助金、危機的状況に備えた資金を提供することにより、私たちの運動の大胆で明るい未来を確保することです。

あなたとあなたのクラブは、50スイスフラン以上を基金に寄付し、誰かを今年のEF顕彰者にしていただけませんか？

目標

EFの目標は、世界中のYMI加盟クラブを拡大・発展させることです。

地域や区における特別な問題を解決したり、YMIを強化、拡大、発展させる特別なプロジェクトを実施するための資金を提供したりします。

制限

使用されるのは収益のみです。資金は、国際議会とEF管理委員会の承認を得て、その目的に沿って支出することができます。

組織

YMIの少なくとも3つの地域を代表する5人の管理委員が、5年の任期を交代で務め、収入を最大化し、基金を推進するために、資金の投資と管理を行います。毎年1名の管理委員が国際会長によって任命されます。

ゴールデンブック

あなたやあなたのクラブがEFに献金を行うと、ワイズメン、YMCA役員、ワイズメネット、親戚や友人の素晴らしい行いをゴールデンブックに記録し、後世に残すことができます。

献金の種類

献金と賛辞

クラブ、個人またはグループは120スイスフラン以上の献金と賛辞を呈することができ、スイスのジュネーブにあるゴールデンブックに掲載されます。

ポール・ウィリアム・アレキサンダー・フェロー

120スイスフラン以上の献金(または120スイスフラン以上の代理献金)を行い、ゴールデンブックの「ポール・ウィリアム・アレキサンダー・フェロー」のページに掲載されます。

ダブル・ポール・ウィリアム・アレキサンダー・フェロー

120スイスフラン以上の献金(または120スイスフラン以上の代理献金)を2度行うことにより、ゴールデンブックに「ダブル・ポール・ウィリアム・アレキサンダー・フェロー」として掲載されます。

オナーロールメンバー

1,000スイスフラン以上をEFに献金した個人。ゴールデンブックの「オナーロールメンバー」のページに掲載されます。

オナーロールクラブ

クラブが1,000スイスフラン以上をEFに献金した場合、ゴールデンブックの「オナーロールクラブ」のページに掲載されます。

エンダウメントフレンド

個人が50スイスフラン以上を献金すると、ゴールデンブックの「エンダウメントフレンド」のページに掲載されます。

EFを支援することで、私たちの組織を強固で安定したものにしましょう。

よろしくお願ひいたします。

S. チャンドラモハン プラド 元理事・EF国際事業主任
携帯 +91 9447772078

Eメール: ymchandramohan@gmail.com



リーラ・ゴピークリシュナ
ワイズメネット国際主任

私たちは、どの位 平等でしょうか？

インド政府の一部門である女性子供開発省は、国内の女性および子供の発展に関する規則、規制、法律の策定および管理を支援する責任があります。1951年の持参金禁止法、1986年の女性の不適切な表現(禁止)法、2005年の家庭内暴力から女性を保護する法律、2013年の職場における女性へのセクシャルハラスメントに関する法律などの法的義務の施行を助けるために働いています。

女性に対する法的保護は、特に家庭内暴力に関する法律のような分野で進展を見せていますが、一貫性に欠けた実施と執行、そして根深い社会的・文化的規範により、依然として大部分が無効と見なされています。つまり、法律が整備されていても、多くの女性が依然として重大な差別や暴力に直面しているのです。

世界中の女性の3分の1以上が生涯にわたり、何らかの形の暴力を経験しています。この率は、家族、地域社会、法的保護が崩壊する緊急時、紛争、危機においてさらに高くなります。

世界保健機関は暴力を「自己、他者、またはグループやコミュニティに対して、

実際または脅迫された身体的力または権限を意図的に使用すること」と定義しています。これにより、傷害、死亡、心理的傷害、または発達の妨げが生じる、またはその可能性が高い状態に至る行為を含みます。女性に対する身体的、心理的、経済的またはその他の形の苦痛をもたらす、すべての性別に基づく暴力行為は、このカテゴリーに該当します。性別に基づく暴力は、個々の被害者に影響を与えるだけでなく、家族やコミュニティも不安定にします。

女性に対する身体的、心理的、経済的、またはその他の形での苦しみを引き起こす、すべての性別に基づく暴力は、性的暴力です。性的暴力は、直接的な被害者だけでなく、家族やコミュニティを不安定にさせます。

身体的暴力には、殴打、絞殺、性的暴力、武器の使用が含まれ、深刻な身体的および精神的健康問題を引き起こし、さらには死に至ることもあります。

合意のない性行為、性行為を得ようとする試み、人身売買に関連する行為、そして同意なしに特定の人々の性的な属性を標的とする行為は、すべて性暴力に該当します。また、他者の尊厳を侵害する

意図や結果を伴う、性的な性質を持つ望まれない言葉や身体的、またはその

他の非言語的な行動も含まれます。驚くべきことに、調査によると、働く女性の30.8%が職場でのセクハラを経験したと報告しています。

女性が耐える可能性のある暴力の別の形態は、女性性器の一部または全部を儀式的に切断または除去することを含む女性性器切除(FGM)です。このような行為は、女性の身体の自律性を侵害し、性的・精神的な健康を損ない、場合によっては死に至ることもあります。

オンラインの暴力は、デジタル空間における女性に対するさまざまな違法または有害な行為を指す包括的な用語です。これは実生活での暴力の経験に関連している場合もあれば、オンライン環境に限定される場合もあり、脅迫、暴力の扇動、不適切または性的に露骨なメッセージ、不正なプライベート画像や動画の共有、ソーシャルネットワーキングサイトでの不適切なアプローチを含みます。

特定の女性グループは、たとえば、障がい者、若い思春期の女の子、民族的少数派、難民、移民など、さらなる高いリスクに直面しています。貧困、紛争、避難などの要因は、性に基づく暴力をさらに加速させます。貧困や戦争のような状況は、重要なサービスの崩壊や強制的な避難を引き起こし、女性が直面するリスクを悪化させます。

調査は、避難民の環境にいる思春期の少女が特に脆弱であることを警告しており、子ども保護事業や大人の女性を対象とした取り組みの両方からしばしば見過ごされていることを示しています。収集されたデータによると、女性や少女に対する残虐行為が性別に基づく暴力のすべての形態において不均衡に高いことを指摘しており、原因を理解し効果的な予防策を実施する必要性が緊急であることを強調しています。

性的不平等、特定の文化における女性の従属の規範化、女性や少女に対する暴力が容認されるという信念は、これらの違反の頻度と深刻度に深く関わっています。難民の地位に追いやられ、新しい生計を求める女性たちは、特に搾取の危険にさらされています。研究によると、親密なパートナーからの暴力、子どもへの虐待は、家族が経済的な不安定に直面しているときに、より頻繁に発生します。

貧困は、しばしば、家族を有害な慣行、例えば子ども婚や女の子を結婚や家事労働のために学校から引き離すことへと追いやります。

暴力は、生存者とその家族に長期的な影響を及ぼし、身体的な損傷から感情的な苦痛、さらには死亡に至るまでさまざまです。性的暴力は、望まぬ妊娠、出産中の合併症、およびHIVを含む性感染症を引き起こす可能性があります。社会的小および経済的な結果は、ジェンダーの不平等をさらに深めます。暴力を報告したり、支援を求めたりすることは、女性にさらなる脅威、社会的な汚名、そして孤立をもたらす可能性があります。

危機は、短期的な出来事ではありません。気候に起因する災害は、再発する危機を生み出し、多くの強制的に避難させられた女性や女の子が何年も仮住まいに住んでいます。この長期的な暴力へのさらされ方は、その影響を何十年にもわたって悪化させ、長期的なレジリエンスやエンパワーメントを妨げる可能性があります。

問題の深刻さにもかかわらず、私たちは解決策を持っています。女性や少女を生涯にわたってエンパワーメントし、意識を高め、あらゆる段階で自信を高めることは、変革に向けた重要なステップです。危機の時代—紛争や自然災害によるものであれ—には、暴力のリスクが高まります。予防と介入の両方に焦点を当てた強力な集団的対応を実施し、女性と少女の安全と福祉を確保することが重要です。

社会的にコミットした組織は、危機の影響を受けた人々のためのプロジェクトやプログラムを設計する際に、ジェンダーの権力の不均衡に対処するアプローチ

を採用する必要があります。残念ながら、ジェンダーに基づく暴力は、求められている緊急性にも関わらず、優先されていません。意義ある影響を生み出し、国際的な受容を得るためには、政府機関と非政府機関の両方が協力して作業することが必要です。

危機的状況で暴力にさらされた女性や女の子の回復力と尊厳を支えることは優先事項でなければなりません。感情的、医療的、心理社会的およびその他の支援事業を提供することは、彼女たちの回復の旅の中で不可欠です。

人々が恥や恐れなく暴力について語れば語るほど、それに効果的に対処する可能性は高まります。性差別、人種差別、虐待に立ち向かうことで、私たちはすべての人にとって安全と幸福が当たり前である世界に向かって進むことができるのです。



より良い世界の形成のための ワイズユースの役割

ミミ・メリン・ジョン

バザリータウン・ワイズメンズクラブ
西インド区 第3部

社会変革のオーケストラにおいて、若者は、クレッシェンドを奏でます。思いやり、革新、正義が融合する世界を形づくります。私は、ワイズユースの誇り高きメンバーとしてワイズメンズクラブ国際協会に根付いている奉仕とリーダーシップの遺産に勇気づけられます。この変革的な運動に貢献し、包摂的で、持続可能で、深く人間的な未来に向けて努力することは、特権であり責任でもあります。

ワイズユースのパワーは、楽観性と創意工夫をもって困難に立ち向かう私たちの能力にあります。私たちは変革の立役者です。アイデアで溢れています。恵まれない地域社会での教育擁護、メンタルヘルス・ワークショップの開催、社会的不正に反対するキャンペーンへの参加など公平性と機会の糸を社会の織物に織り込もうと努力しています。私にとっては、すべてのプロジェクトが、溝を埋め、取り残された人々を向上させるための個人的なコミットメントなのです。

この未曾有の技術進歩の時代においてワイズユースは、デジタルアクティビズムの最前線に立っています。ソーシャルメディアキャンペーンを通じて、気候変動、災害救援、地域社会の健康といった問題に世界的な関心を寄せています。テクノロジーは、私たちの味方となり、私たちの声を増幅し、国境を越えた有意義な協力関係を築くことができます。デジタルネイティブとして、私は、行動を喚起し、資源を動員し、連帯を育むために、このようなプラットフォームを活用することを、大きな誇りとしています。

私たちの使命のもうひとつの柱は、環境保護です。エコロジーが叫ばれる世界で、ワイズユースは、持続可能性を担っています。植林活動から再生可能エネルギーの提唱に至るまで、私たちの努力は次世代に地球を残すことの緊急性を強調しています。私は、個人的にいくつかのグリーン・イニシアティブに参加しています。そのひとつひとつの行動が、どんなに小さなことであっても、私の信念をより強固なものにしています。若者主導の変革は、可能であるだけでなく必要不可欠です。

しかし、私たちの精神は、行動だけにとどまりません。それは、私たちの回復力、希望、そして変革の可能性に対する揺るぎない信念にあります。世界的な危機の時代 パンデミックであれ、自然災害であれ、人道的緊急事態であれ、勇気と思いやりの前触れとして立ち上がります。救援活動、地域社会への奉仕活動、教育活動は、若者の利他主義が持つ無限の力を示しています。

ワイズユースの一員であることは、単なる役割ではありません。個人的な成長の旅であり、奉仕であり、充実感なのです。社会の向上のために絶え間なく努力することを誓います。変革は、抽象的なものではなく、行動であり、それは、私たち自身から始まるものである、という信念が私の原動力です。私たちは、共に、奉仕と目的が合致する物語を作り上げるのです。どんな小さな努力も、より良い世界という壮大なビジョンに貢献します。

この世界的な運動のメンバーとして、私は、こう思います。ワイズユースのタッチを受け継ぎ、より良い世界への道を照らし出します。より明るく、より優しく、より調和のとれた未来への道を照らすのです。ここでの私の旅は、単なる責任ではなく、深い特権です。

「ワイズユースとして、私たちは、共に、より良い世界を創る力を持っています。その時々により良い行動を。」

オタワYサービスクラブ

地域奉仕プロジェクト

2025年2月 ジョウン・ウイルソン

オタワYサービスクラブ(カナダ中西区、カナダ/カリブ海諸国地域域)には、支援を必要とする人々に最も効果的に手を差し伸べる方法として、地元の非営利団体と提携してきた長い実績があります。1970年代から、私たちは、インターバル・ハウスと協力してきました。インターバル・ハウスは、多くは、配偶者等からの虐待が原因で、家から逃げ出さざるを得なかった女性たちに、パジャマや洗面用具を提供しています。また、カーリントン・コミュニティ・チャプレンシーとも協力体制を取っており、低所得者向け住宅に住む人たちにランチを用意し、提供しています。最近では、ハイジックスを支援しています。ハイジックスとは、ダウンタウンにある店舗形式のプログラムで、私たちの街の中心部で、家を持たず、かつ/または、経済的に困難な状況にある多くの人々に対しても支援しています。ハイジックスの支援者たちは、彼らとともに支援と思いやりのあるコミュニティーを築いているため、彼らは、お客様ではなく「隣人」として扱われています。

新型コロナウイルスが発生したとき、ハイジックスの隣人たちは、私たちのYサービスクラブを含む様々な教会や奉仕団体から定期的に配給されていた食料品など、それまで受けていた支援の多くを失いました。私たちのメンバーは、すぐに、毎週火曜日に個別包装のサンドイッチを40個提供することに変更し、今では少なくとも週に50個のサンドイッチを提供するまでに成長しました。サンドイッチを必要とする隣人には、配膳用の窓から配られます。冬には暖かい手袋や帽子、靴下、夏にはアイスキャンディーといったものを差し入れすることもあります。過去5年間、クラブは、伝統的に冬の最も寒い時期である2月に、特別な「バックパックと炊き出し」パーティーを行ってきました。この写真は、メンバーがキットを作っているところです

- * 暖かいもの - ミトン、帽子、靴下、マフラー、ハンドウォーマー
- * 洗面用具 - フェイスクロス、歯ブラシ、デオドラント、歯磨き粉、石鹸、シャンプー
- * スナック - ジュースボックス、グラノーラバー、プロテインスナック、チョコレートバー

これらのキットをそれぞれ1つずつバックパックに入れ、元気を必要としている近所の人に配ります。リュックに詰めるメンバーもいれば、いろいろな食べ物やスナックを作るメンバーもいます。これらは1人分ずつに包装され、あらかじめ冷凍されてからハイジックスに運ばれ、配られます。

今年のバックパックと炊き出しの日、私たちは、以下のものを作りました:

- *バックパック33個
- *スパゲッティまたはチリ30人前
- *マフィン84個

ご近所の方々やハイジックスからの報告によると、バックパックは、1年のうちで大変な時期に必要とされる助けになっているとのこと。また、1人分食料パッケージは、近隣住民がその月を乗り切るのに役立っています。インターバル・ハウス、カーリントン・コミュニティ・チャプレンシー、ハイジックスのような地元のパートナーと協力することで、私たちのクラブは困っている人たちを直接支援することができ、より効果的であると信じています。まさしくウィン・ウィン・ウインの関係です!

次ページの写真:

- 1列目:「暖かいもの」キットに入れるもの;「洗面用具」アイテムを仕分けるアンディ
- 2列目:「暖かいもの」と「洗面用具」アイテムを披露するメンバー;「スナック」キットに詰めるピーターとデイブ
- 3列目:「洗面用具」キットに詰めるマリリン; バックパックに入る3つのキット(暖かいもの、洗面用具、スナック)を披露するレベッカ; 1人分食料を作るデイブ、マーニ、マーグ
- 4列目-バックパックの大半を持つクラブメンバーの一部;バックパック3セット;ハイジックスの看板;ハイジックスで感謝する隣人





2024/25 国際選挙結果

ノルウェー出身のヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィクが、2025/26年度の次期国際会長に選出されました。彼は2026年7月1日に国際会長に就任します。エルトヴィクは、ノルウェーのトンスベルグ・ワイズメンズクラブの積極的な会員であり、現在はノルウェー区理事およびヨーロッパ地域のアレクサンダー奨学金基金事業主任を務めています。

彼は、世界YMCA同盟総主事(2011-2018年)およびヨーロッパYMCA同盟総主事(1999-2010年)を歴任するなど、豊富な国際的リーダーシップ経験を有しています。その国際奉仕とリーダーシップに対する献身が評価され、ノルウェーとポーランドでナイトの称号を授与されています。

ワイズメンズクラブでのリーダーシップに加え、彼はノルウェー教会の牧師としての奉仕も続けており、地域社会への献身的な取り組みが伺えます。

今年の国際選挙における投票用紙の提出期限は2025年1月27日でした。投票締め切り時点で、592クラブが投票を完了しており、全720クラブ中82.22%の投票率となりました。

次期国際会長の選出に加えて、今年はアフリカ地域とインド地域において立法議会代表者の選挙が実施されました。他のアジア太平洋、ヨーロッパ、インド、ラテンアメリカ地域の代表者は、無投票で選出されました。



ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィク
次期国際会長 2025/26



マメン・ウメン・
コチュカリカル
インド・中央トラヴァンコール区



ラチャン・
マニーカーン
タイ・南東アジア区



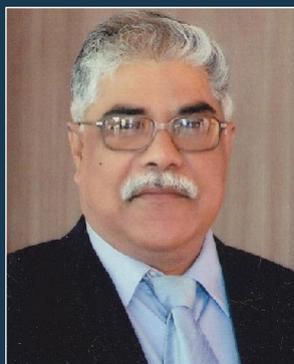
マッシュューズ・
アブラハム
インド・中西インド区



ジャレッド・
ムシマ
ケニア・アフリカ南東区



マガリダ・マリア・
ルイヴォ
ブラジル・ブラジル区



ジェイコブ・
ヴァルギース
インド・南中部インド区



マルティン・
フォスヤン
オランダ・中央南ヨーロッパ区

おめでとうございます

追悼

ワイズメンズクラブ国際協会は、2025年2月4日に79歳で亡くなった国際会計エリック・ブレイオム氏の死を悼んでいます。

1945年にデンマークで生まれたエリックは、ユトランドのスナボーでほとんどの人生を過ごし、妻のアリスと共に3人の子供を育てました。彼の経歴は、公務に費やされ、スナボー市のCEOとして、そのリーダーシップと財政能力は、広範な尊敬を集めていました。

エリックは、1970年にスナボーワイズメンズクラブに入会し、私たちの運動に50年以上の奉仕を捧げました。彼は、クラブ、区、エリア、国際レベルで数多くの指導者の役割を歴任し、クラブ会長(1993/94、2009/10、2018/19)、区理事(1981/82)、国際議会メンバー(2010-2012)、国際会計(2012-201、2024年再選)、地域会計(2018-2024)を務めました。

エリックは、2012年に国際会計に初めて選出され、前任者の突然の逝去を受けてその役割を引き継ぎました。彼の任期が2015年に終了した後、2024年7月までヨーロッパ地域会計として引き続き活動し、その後、国際会計に再選されました。

彼は、責任に対して真摯さ、プロ意識、誠実さを持って取り組み、常に財務問題が丁寧に扱われるようにしました。彼の鋭い分析能力、公平感、傾聴の姿勢は、彼を多くの人々にとって価値のある同僚であり助言者にしました。彼と緊密に働いた人々は、しばしば難しい議論を和らげるのに役立つ彼の温かいユーモアのセンスも知っていました。

ワイズメンズクラブ国際協会の枠を超えて、エリックは、地域奉仕や信仰に基く団体に深く関わっていました。彼は、ボーイズブリゲード(FDF)のリーダーとして、教会評議会のメンバーおよび教育と文化保存に関する地域委員会の委員長を務めました。彼の強い信仰とキリスト教の価値観への信念が、彼をリーダーシップと奉仕への道に導きました。

エリックのワイズメンズクラブ国際協会への貢献は、忘れられることはありません。彼の献身、知恵、そして揺るぎない財務管理への責任感、私たちの運動に残さない足跡を残しました。彼の妻アリス、彼らの子供たち、そして彼を知り、敬愛したすべての人々に心よりお悔やみを申し上げます。

彼の死を悼みつつ、彼が残した素晴らしいリーダーシップと奉仕の遺産を称えます。

国際会計 エリック・ブレイオム、どうぞ安らかに眠ってください。



エリック・ブレイオム

国際会計

2012-15、2024-

1945.9.20-2025.2.4

(79歳)



ジョン・チャオ

第79代国際会長(2004/05)

1943.8.2-2025.1.31 (81歳)

ワイズメンズクラブ国際協会は、2025年1月31日に亡くなった元国際会長ジョン・L・チャオ氏の死を悼んでいます。彼は、81歳でした。

献身的なワイズメンであり、影響力のあるリーダーであったジョン・L・チャオは、フィリピンのマニラダウンタウン・ワイズメンズクラブの活発なメンバーでした。私たちの運動への生涯にわたるコミットメントにより、彼は、ホームクラブ、区、国際的に多数のリーダーシップの役割を果たしました。

元国際会長ジョンのワイズメンズクラブ国際協会におけるリーダーシップは、2000年から2003年までの国際議員としての任期と、2002/03年のアジア地域の会長としての活動によって痕跡を残しました。彼の献身とビジョンは、2004/05年の国際会長への選出につながり、その間に「輝かせ あなたの光を」というテーマを掲げ、奉仕、コミュニティー、信仰を重視する彼の信念を映し出しました。

ジョン・L・チャオは、ワイズメンズクラブ国際協会に貢献したのにとどまらず、ファーイースタン大学で商学と法学の学位を取得した著名な弁護士であり、ビジネスマンでもありました。彼は、JLCグループの社長、チャオ・モンティラ・アルベザ法律事務所の上級パートナーを務め、フィリピン印刷業協会や全国図書開発委員会などの組織でリーダーシップを発揮する役割も果たしました。

ジョンは、会長職を終えた後も長く私たちの運動に関与し、尊敬される存在であり続けました。彼は、主要な地域および国際的な集會に定期的に出席しました。2023年3月の台北での100周年記念行事では、仲間の元国際会長たちと、節目を祝いました。

彼の死は、友人、同僚、そしてワイズメン・コミュニティ全体に深く受け止められてられています。彼を知る人々は、彼の温かさ、リーダーシップ、そして揺るぎない奉仕へのコミットメントを思い出すでしょう。

元国際会長 ジョン・L・チャオ、どうぞ安らかに眠ってください。

IYC2024のひとコマ



ジョビ・ジョシュア
IYC委員長
中東区 元理事

